議会だより
とくのしま

第178号
平成27年2月1日

発行：徳之島町議会　編集：議会広報編集委員会　〒891-7192　鹿児島県大島郡徳之島町亀津7203
TEL 0997（82）1111　FAX 0997（82）1101

母間小学校のICT授業を視察する議員ら（関連写真P22に）

第4回定例会

12月9日～12日

☆ 審議された案件と議決結果　P14・P21
☆ 一般質問（5氏登壇）　P15～19
☆議会の動き・議員研修レポート　P18～19・P20
☆編集後記　P22

12 月定例会で審議された案件と議決結果

案　　件	議決結果
（議案）	
・空き家等の適正管理に関する条例の制定	原　案　可　決
・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定	原　案　可　決
・製氷施設の設置に関する条例の制定	原　案　可　決
・職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	原　案　可　決
・報酬及び費用弁償条例の一部改正	原　案　可　決
・国民健康保険条例の一部改正	原　案　可　決
・損害賠償の額の決定	可　　決
・鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合の共同処理する事務の変更並びに同組合規約の変更	可　　決
・平成 26 年度一般会計補正予算（第 12 号）	原　案　可　決
・平成 26 年度簡易水道事業特別会計補正予算（第 6 号）	原　案　可　決
・平成 26 年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第 4 号）	原　案　可　決
・平成 26 年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第 5 号）	原　案　可　決
・平成 26 年度介護保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	原　案　可　決
・平成 26 年度公共下水道事業特別会計補正予算（第 5 号）	原　案　可　決
・平成 26 年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第 4 号）	原　案　可　決
・平成 26 年度水道事業会計補正予算（第 5 号）	原　案　可　決
・議員派遣の件	原　案　可　決
・平成 26 年度一般会計補正予算（第 13 号）	原　案　可　決
（陳情）	
・商工会に対する平成 27 年度補助金等に関する要望書	継　続　審　査
・「手話言語法」制定を求める意見書の提出を求める陳情書	採　　択
・ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情書	採　　択
・「JA 自己改革」に関する陳情書	採　　択
（発議）	
・「手話言語法」制定を求める意見書	原　案　可　決
・ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書	原　案　可　決
・「JA 自己改革」に関する意見書	原　案　可　決

10 月臨時会（第 4 回）で審議された案件と議決結果

案　　件	議決結果
（議案）	
・工事請負契約（水道施設整備工事母間地区）	可　　決
・工事請負契約（水道施設整備工事南部地区）	可　　決
・平成 26 年度一般会計補正予算（第 7 号）	原　案　可　決
・平成 26 年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	原　案　可　決
・平成 26 年度介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）	原　案　可　決
・平成 26 年度公共下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）	原　案　可　決
・平成 26 年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第 3 号）	原　案　可　決

いっぱん質問

12月定例会には、5人の議員が登壇し、介護保険制度、子ども・子育て新制度、観光行政、地方創生の取り組み、さらに教育振興、農業振興など町政全般にわたり執行部の考えをただしました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

ＳＳＷを増員できないか

幸　千恵子　議員

問　不登校児童生徒一人ひとりに向き合う時間を確保するために、教師の多忙さ解消が必要だ。配慮できることはないか。また、対応に効果を上げている※ＳＳＷも一人では間に合わない状況がある。増員できないか。

※ＳＳＷ（スクールソーシャルワーカー）とは、教育現場に学校内外の関係機関との連携を強化する調整役として、多様な支援を保障する専門性を持った人たちのことをいう。

適任者の確保に努める

答　**琉学校教育課長**
子どもたちが日々の生活の中で出合うあらゆる困難な問題を解決するため、支援員やＳＳＷの適任者確保に努めていく。

保育士確保に奨学金を

問　子ども・子育て新制度で保育現場はどう変わるか。利用者負担は増えるのか。待機児童が解消していないが、ネックである保育士確保のために奨学金制度を設け、町として積極的な子育て支援を実施できないか。

処遇改善を図り検討

答　**宮之原介護福祉課長**
保護者の就労時間に応じて2種類の保育時間設定ができる。短時間保育は安くなる。保育士不足も喫緊の課題だが、保育士処遇改善事業等を活用し、職場環境の改善を図りながら、奨学金制度も今後検討・協議していく。

土砂採取場のある南原

土砂採取は行われているか

問　辺野古の海を埋め立てる土砂の採取と、桟橋建設への協力を求められた経緯と内容は。桟橋建設に同意しなかった漁協の判断はとても重要。現在、土砂採取は行われているのか。

漁協の同意が必要

答　**高岡町長**
土砂採取の案件は、辺野古ではなく、那覇港・空港での骨材提供と聞いている。町としては、漁協の同意が必要と考える。また、漁協の同意を得ないで話を進めることはない。

現在は中断

答　**住田企画課長**
現在、町内で認可を受けている業者は2業者であるが、採取については現在中断している。

その他の質問
○介護保険について
○特別支援教育について
○日米共同訓練について

協力隊で地域おこしを

広田　勉　議員

地方自治体の判断で決定できる。地域の協力隊受け入れニーズに対応するためには、設置要綱等が必要だ。

設置要綱が必要

問　平成21年度に制定された「地域おこし協力隊」は、地方自治体が設置要綱を策定し募集を行い、一人当たり400万円の活動経費が国から出る。25年度は全国で約千人の若者がこの活動に従事している。この制度は、人口増にもなり得る。ぜひ本町でも活用を。

答　**住田企画課長**　活動内容は、地域力の維持活性化に資する活動とし、具体的内容は、能力や適正、地域の実情に応じ

新たな事業を提案

答　**高岡町長**　現在は、緊急雇用対策事業の補助金等で雇用対策を行っている。今後は、奄振予算等で継続可能な雇用対策として新たな補助事業の提案をしていきたい。

寄港地変更を知らせる手立てを

問　定期船の寄港地変更は、船長の判断であるが、近年平土野港への変更が多い。

突然の変更は地元の人でも慌てる。観光客やよそから来られた方には、不親切である。変更を知らせる手立てを検討すべきでは。

船会社へお願いする

答　**住田企画課長**　現在、変更が決まり次第、待合所での張り紙と電話での対応を行っているとのことだ。今後、観光客等に対して迅速に情報提供ができるよう手法を検討し、船会社へお願いしていきたい。

亀徳新港待合所入り口に船の寄港地変更を知らせる張り紙

婚外子にも経済支援を

問　最高裁判所で、親が結婚しているかどうかで子どもに不利益があるべきではないとの判決があった。子どもは親を選べないので、どの子にも平等であれとのことだ。母子・父子世帯と同様の経済支援が、婚外子にもあるか。

同様の支援が受けられる

答　**宮之原介護福祉課長**　保育料の軽減措置や医療費補助、児童扶養手当等、所得制限はあるが、婚外子の世帯も母子・父子世帯と同様の経済支援を受けられる。

その他の質問
- ○会計課業務について
- ○専門職種の人事のあり方について
- ○学校の統廃合について

次回の定例会は3月です

※定例会の様子をインターネットでご覧いただけます。
町のホームページから「議会中継」にアクセスしてください。

みんなで議会を傍聴してみませんか。手続きは簡単で、傍聴席入口の受付名簿に住所、氏名を記入していただくだけです。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎82－1111（内線331番）

議会傍聴の様子

競技場の整備を

勇元　勝雄　議員

問　本町は、「健康のまち」宣言を掲げている。町民の健康と医療費の抑制、娯楽のため、町で競技人口の一番多いグラウンドゴルフ・ゲートボール場の整備ができないか。

健康維持のためグラウンドゴルフを楽しむ人たち

地域の施設利用を

答　**深川社会教育課長**
グラウンドゴルフ協会、ゲートボール協会の会員が３５０人近く登録されている。町民の健康増進、医療費抑制に整備が必要だが、各地区の既存の施設を利用していただきたい。

各公民館へネット接続を

問　町民は、役場、議会が町民のためどういうことをしているかわからない。各公民館へインターネットを接続して、本会議のネット中継をすることにより議会の生の声が届く。議員、町長、職員の資質向上につながらないか。

現状では困難

答　**岡元総務課長**
本町の光インターネットは現在、亀津と亀徳の一部・学校等各公共施設で運用されている。全ての公民館へ接続すると、２千万円弱の費用がかかる。各公民館で長時間視聴する人数を考えると、費用対効果の面からも現状では困難と思う。

人材育成はどのように

問　これからは、地方創生の時代、各市町村のアイデアの競争である。時代の変化に的確に対応し、創意工夫で問題解決していくための優秀な人材を育成するため、どのようなことを考えているか。

派遣等で進める

答　**高岡町長**
人材育成は以前より進めているところだ。国土交通省派遣や、新年度には奄美広域事務組合にも町として単独予算で派遣を予定している。人材育成としての派遣は、地方創生計画を作成していく上で重要と考えている。

その他の質問

○火葬場への道路整備について
○高齢者対策について
○自家発電設備の設置について
○町道の整備について
○職員採用試験について

あなたのご意見をお寄せください

議会に対する質問や意見、または本紙に対する意見や希望がございましたら、
議会事務局までご連絡ください。

徳之島町議会事務局　☎８２－１１１１（内線 331 番）

急げ、台風時の停電対策

宮之原　順子　議員

問　台風時の長引く停電は、住民にとっては大変迷惑なことだ。人口呼吸器などの電動式介護用具を使用している方にとっては、命がけだ。停電対策として、電線の地中埋設化はできないか。

国策として推進すべき

答　**岡元総務課長**

電線の地下埋設化は、小郷・港ヶ丘団地の2カ所で行ったが、工事費が高額だ。台風時の停電対策として有効だが、各道路や敷地に埋設となると多大な予算が必要なので、国策として推進すべきと考える。

介護カフェの設置を

問　家族を介護している介護者の肉体的、精神的心労を少しでも軽くするための支援対策として、介護者や認知症の方が気軽に相談できる介護カフェの設置ができないか。

具体的に進める

答　**高岡町長**

第6次介護計画は、※2025年問題を含め進めているところだ。介護予防や地域見守りの観点からも議員の提案は進めていきたいと思う。

※2025年問題とは、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる年で、急速な高齢化に伴い医療・介護・福祉サービス等の社会保障財政のバランスが崩れると指摘されている問題である。

亀津中央通商店街にある交流・支え合い活動の館「いっちも～れ」で、楽しそうにかごづくりをする人たち

イノシシ被害 切実な問題

問　イノシシ被害は、農家にとって切実な問題だ。イノシシ被害の状況と課題は。狩猟免許取得費用の助成はできないか。

高齢化で狩猟登録減少

答　**里内農林水産課長**

被害状況は、平成21年度から増え始め24年度がピーク、現在は減少傾向。柵の設置と未設置地域では被害に差が出ている。課題は、農家の柵の維持管理だ。また、狩猟免許保持者も高齢化等により登録者が減少している。今後登録費用助成・新規狩猟者確保対策等を検討したい。

議会の動き

10月
2日　第1回議会だより編集委員会
3日　なごみの邦とくのしま20世紀の追憶記念モニュメント披露と感謝の夕べ
5日　在鹿徳之島町郷友会総会（鹿児島市）
14日　第2回議会だより編集委員会
18日　徳之島地区消防組合30周年記念式典・祝賀会
19日　フジドリームエアラインズ歓迎セレモニー（天城町）
20日　ギニア共和国との友好協定調印式・交流会（伊仙町）
20日　第4回臨時会
20日　第3回議会だより編集委員会
21日　県産材の利用促進に関する要望活動
25日　町立図書館10周年記念講演会・祝賀会
26日　3カ町合同防災訓練
28日　戦没者慰霊祭（鹿児島市）
29日　離島議長行政調査（長崎県壱岐市）
　　畑かん営農研修会

11月
2日　関西徳州会総会・運

美農里館の稼働状況

鶴野　将光　議員

問　2千万円以上の経費がかかる美農里館の自社製品の売り上げは。スプレードライヤは、工場内で最も高額な機械であるが、一度も使用されていない。キャッサバ芋を加工してタピオカの製造に生かしてみてはどうか。

受託による稼働向上

答　**幸田地域営業課長**
現在の売り上げは、645万1136円で、50万円ほどの未収額がある。また一次加工の受託にも力を入れ、キャッサバ芋等需要があるものは今後生産農家の方々と協議を進め、農業所得向上と雇用の拡大を目指していく。

稼働実績のないスプレードライヤ

指名入札は公平か

問　亀津中新築工事は、特定建設業許可を持たない会社が、元請けとして施工しており、建設業法違反の疑いがある。また、業法上問題のない特定建設業者1社が入札に参加すらできていないがなぜか。

工事内容等で指名業者を選定

答　**香山副町長**
一般建設業者と特定建設業者では、下請けに出せる金額に違いがあるが、そのどちらも元請けとして発注者から請負う額に制限はない。指名業者は、工事内容等を踏まえ指名委員会で決定している。

公共工事は町内業者で

問　町民の血税が使われている公共工事について、受注業者に対し、なるべく町内業者を下請けとして選定するようお願いできないか。また、公共工事受注並びに下請け業者を棒グラフで作成し、役場内に掲示できないか。

入札結果は閲覧可能

答　**香山副町長**
下請け業者を町内に限定することは、難しいのではないかと今は考えている。入札結果の公表は、公共工事等の入札終了後、事業の担当課で入札結果を閲覧できるようにしている。

なるべく地元業者に

答　**麓建設課長**
今後、なるべく地元業者に下請けさせるように、検討していきたい。

6日　市町村政研修会（鹿児島市）
8日　世界自然遺産登録シンポジウム（伊仙町）
9日　2014鹿児島政経セミナー（鹿児島市）
11日　離島議長全国大会（東京都）
12日　町村議長会全国大会（東京都）
14日　3カ町合同防災訓練事後検討会・懇親会
17日　第5回臨時会
19日　ゆめ・ときめき芸能発表大会
21日　第31回町福祉スポーツ大会
22日　第2回徳之島町食と農林漁業の祭典
25日　東天城地区戦没者合同慰霊祭（前川生活館）
26日　遺族会慰霊祭並びに総会
27日　第6回臨時会
28日　各種協議会総会（奄美市）
30日　大島地区生涯学習推進大会（伊仙町）

12月
5日　議会運営委員会
7日　元伊仙町長樺山資敏氏町民葬（伊仙町）
9日　第4回定例会開会
12日　母間小学校ICT授業視察
　　第4回定例会閉会

議員研修レポート

平成26年11月6日鹿児島市民文化ホールで、市町村政研修会が開催され、2人の講師が次の演題で講演を行いました。その内容を常任委員がレポートします。

レポート①　総務文教厚生委員　宮之原順子

「習近平政権～内情と外交政策～」

講師　筑波大学名誉教授　理学博士　遠藤　誉　氏

まずは、習近平政権の話の前に、中国漁船密漁問題について話があり、赤サンゴの密漁の背景には、中国近辺海域での密漁による資源の枯渇とそれによる中国国内での密漁販売規制強化と価格高騰がある。

日本で大規模に密漁が行われる背景には、中国の船主が日本近海で大量の赤サンゴを密漁し、日本円にして約39億円で売り抜けたという話が広まったことによる。少しでも赤サンゴを手に入れられたら一攫千金を狙えるとのことで、10月末には212隻のサンゴ密漁船とみられる中国船が確認されている。

日本でだ捕されても、すぐに保釈される、罰金も非常に安いし、軽い処罰しか受けないことが200隻以上にも増えた原因である。11月19日に日本政府は、外国人密猟者に対する厳罰化の方針を掲げ、法律の改正案を成立させた。これ以降、密漁船は減少傾向にある。

次に、習近平は中華人民共和国の政治家で、胡錦涛の後任として最高の地位に就いた。習近平は、周囲の意見を聴きながら政策を実行するタイプの人物で、中国国内における習の政治姿勢は、改革であり、党員、官僚の腐敗に対しては厳しく臨んでいる。「虎も蠅も同時に叩く」反腐敗運動を実践し、深刻化している党員の汚職問題に取り組み、1年間で18万人の処分（うち党幹部は15万人）をした。

外交戦略に関しては、「エネルギー源確保」と「中華民族の偉大なる復興」を柱に力を入れている。中国と日本は、歴史認識や尖閣諸島をめぐる問題でもめているが、国交正常化の後、中国は日本の最大の貿易相手国であり、日本企業は2万社が進出する一方、日本で生活する外国人のうち中国人は67万人で、最も多い。

習近平政権も温厚な心と心のふれあう政治を目指し、日本とも親密な関係になってほしい。

11月10日に北京で開催されるAPEC（太平洋経済協力会議）首脳会談で、日中首脳会談が実現されるかどうか。安倍首相が毅然とした態度で問題の存在を正視するよう言ってほしいものだと締めくくった。

レポート②　経済建設常任委員　行沢　弘栄

どうなる？消費増税後の日本経済！～アベノミクス成功の条件～

講師　第一生命研究所主席エコノミスト　永濱利廣　氏

消費増税後の日本経済については、とても景気がいいとは言えない状況だと切り出した。2013年からアベノミクスが始まり、アベノミクスの三本の矢（大胆な金融緩和・機動的な財政政策・民間投資を喚起する成長戦略）のうち、金融緩和と経済政策は実施され、効果が表れている。

増税後の各種指標から見て、駆け込みの反動だけでは語られないものがあり、今後10％の消費増税に移り、現在のところ五分五分だと語り、実施すべきか否かについては、意見が分かれるところだという。

問題は、まだ実施されていない三本の矢（成長戦略）

1.日本の「稼ぐ力」を取り戻す
- 法人税改革
- 企業統治
- 政労使会議
- 金融資産活用

2.「担い手」を生み出す
- 人口
- 女性
- 外国人

3.岩盤規制の改革
- 雇用
- 医療
- 農業

4.その他
- エネルギー
- 観光

そして、社会保障費の効率化についても避けられないという。年金・医療・介護が注目されがちだが、それ以外の生活保護や社会福祉費も大幅な削減は難しいと考えられるが、社会保障改革の「聖域」とせずに改革の余地を検証する必要がある。

以上が成功するかどうかだと締めくくった。

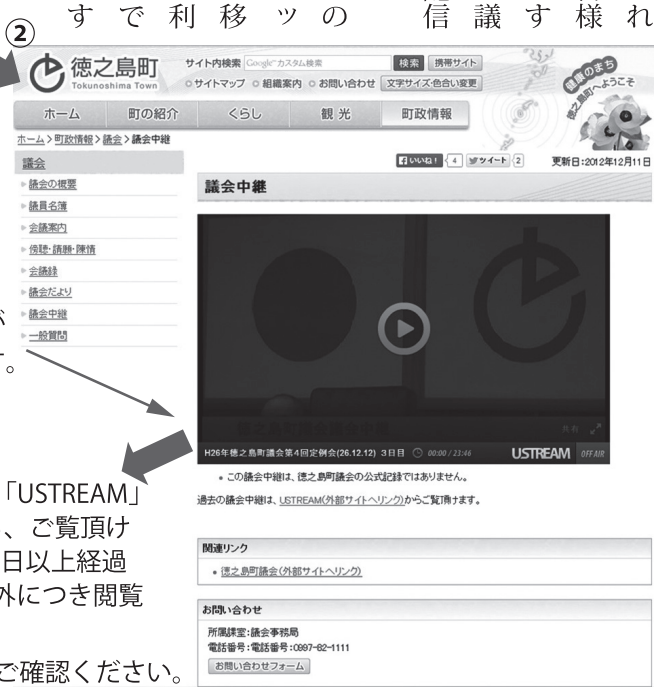
昨年末に安倍首相が「アベノミクスト選挙」だと宣言した総選挙が行われ、与党が大勝した。徳之島、奄美にも1日も早い景気回復を期待したいものです。

議　会　中　継

徳之島町議会では、「開かれた議会」を目指し、町民の皆様に幅広く議会活動をお知らせするため、平成24年９月から、議会中継をインターネットで配信しています。

町ホームページ画面左側の「議会中継」のバナーをクリックすると、該当するページに移動します。インターネットを利用できる環境があれば、いつでも公開中の映像を閲覧できますので、ぜひご活用ください。

1. 徳之島町公式ウェブサイトのトップページ左側にある「議会中継」をクリックします。



2. 会議の様子が配信されます。

3. 過去の議会中継は「USTREAM」（外部リンク）から、ご覧頂けます（ただし、30 日以上経過したものは、契約外につき閲覧不可）。

※視聴する際に必要なソフトウェアの設定方法等は、各自でご確認ください。

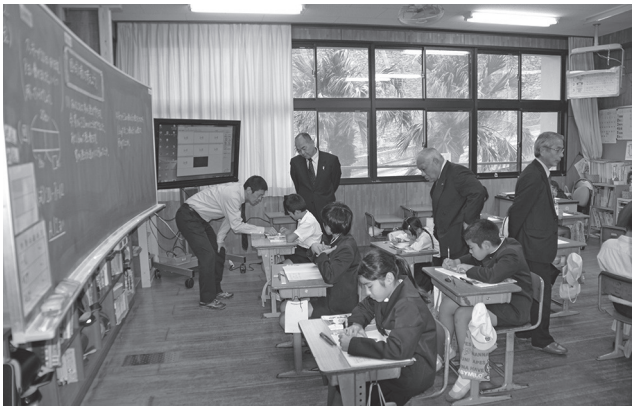
11 月臨時会（第 5 回）で審議された案件と議決結果

案　　件	議決結果
（議案）	
・専決処分について承認を求める件（平成 26 年度一般会計補正予算第 8 号）	承　　認
・平成 26 年度一般会計補正予算（第 9 号）	原　案　可　決

11 月臨時会（第 6 回）で審議された案件と議決結果

案　　件	議決結果
（議案）	
・専決処分について承認を求める件（平成 26 年度一般会計補正予算第 10 号）	承　　認
・職員の給与に関する条例の一部改正	原　案　可　決
・特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正	原　案　可　決
・平成 26 年度一般会計補正予算（第 11 号）	原　案　可　決
・平成 26 年度簡易水道事業特別会計補正予算（第 5 号）	原　案　可　決
・平成 26 年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第 4 号）	原　案　可　決
・平成 26 年度公共下水道事業特別会計補正予算（第 4 号）	原　案　可　決
・平成 26 年度水道事業会計補正予算（第 4 号）	原　案　可　決

母間小ICT授業視察の様子



議会活動スナップ

自衛隊の物資補給訓練の視察をする議員ら

編集後記

選挙が済んで早10カ月が過ぎた。その間に3回の定例議会、6回の臨時議会があった。私が非常に疑問に思ったのは、9回の議会で執行部が出した議案や予算に対して質問の少なさ、疑問点はないのかと思う。

予算の徹底した審査、町政に対する批判と監視は、議会の一番大事な仕事である。そして、「是は是、非は非」の町民目線での物事の判断。これらが、これから求められる町民のための議会であると思う。

議会は過去に大きな無駄遣いを許している。4億6千万円の土地問題、民間業者が行った宅地造成への4500万円の水道施設、ごみ収集車を1台増やして6000万円余り、総合グラウンドの委託料の400万円余りの値上げ、もっとたくさんの無駄遣い、全部町民の税金だ。

このようなことを許しているのが議会だ。勇退した先輩議員が「悪いのは町長ではない。議会だ」と言った。町政をただすことができるのは議会の権利である。選挙のとき、議員は立派な公約を並べるが、選挙が終わると、自分が言った公約を忘れるのではなく、4年間、自分自身の頭にたたき込んで忘れないようにしたい。

編集委員の皆さん

今年度から国のほうでは、地方創生の時代ということでいろいろな施策が行われると思う。基本は、自分のことは自分で考えなさいということだと思う。事業を起こすためには、自分たちでアイデアを出さなければならない。これからは町民、議会、町が一丸となってアイデアを出し、国に要望をしていかなければ、国からの予算がもらえないような時代になる。

役場まかせではなく自分たちの町のため、アイデアを出し合って誇れる徳之島町をつくるため、力を合わせてがんばろう。また、皆様に選んでもらった我々議員をしっかりと監視し、町民の痛みのわかる人間になるようご指導をお願いしたい。

議員は、町民全体の奉仕者であることを肝に銘じ、一生懸命頑張らないといけない。

文責　勇元勝雄